

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロイヤルプロ向日市 新築工事	階数	地上1階
建設地	京都府向日市上植野町尻引115他	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,200 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2021年10月10日
敷地面積	4,983 m ²	作成者	宮本裕也
建築面積	2,381 m ²	確認日	2021年10月10日
延床面積	2,350 m ²	確認者	宮本裕也

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.2 ★★★★★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆☆</p> <p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆ 80%: ★☆☆ 100%: ★☆ 100%超: ★</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>77%</td> </tr> </table> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	77%	③上記+②以外の	77%	④上記+	77%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	77%									
③上記+②以外の	77%									
④上記+	77%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 2.9	Q2のスコア = 3.2	Q3のスコア = 2.5
音環境: 2.6, 温熱環境: 2.6, 光・視環境: 3.0, 空気質環境: 3.7	機能性: 3.2, 耐用性: 2.8, 対応性: 3.6	生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.9	LR2のスコア = 3.0	LR3のスコア = 3.3
建物外皮の: 4.8, 自然エネルギー: 3.0, 設備システム: 4.4, 効率的: 2.9	水資源: 3.0, 非再生材料の: 3.1, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 3.9, 地域環境: 2.8, 周辺環境: 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>メイン道路に面する壁面はできるだけ後退させた位置に配置し、周囲への圧迫感の軽減に配慮した計画とした。また、来客用に十分な駐車スペースを確保し、公共の交通の流通性に配慮しました。</p>		<p>特にありません。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>天井高さを3.6m確保し、ゆったりとした空間の創出に配慮します。また、壁・天井の仕上げ材等に関してもF☆☆☆☆の材料を使用し、有害物質の発散を小さく抑える様に配慮しました。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>店内はバリアフリー仕様とし、来店客の移動をスムーズに行える様に配慮しました。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>計画敷地内には出来るだけの植栽を計画し、周囲の環境に配慮し、良環境の創設・維持に努めます。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>照明機器はLED機器を採用し、空調機器に関してはCOPの高い機器を採用しました。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>特にありません。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>空調機器はノンフロン冷媒を採用し、排熱に関しても直接道路に排出しない様に配慮しました。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される